

「穴」と「箱」の来歴:カトマンズ盆地の道ばたから
 関西学院大学教授、山岳部長 古川 彰

1. はじめに

- ・カトマンズ盆地パタン市での水利用調査(湧水=ブンガー、井戸、掘り下げ井戸、水道・・・)
- ・ジャルンという聖水の箱の再発見→ジャルン悉皆調査へ
- ・ブンガー、サガー、ナウガーからデョガー、チャサ(ガー)、カラン(ガー)、ボウガー→ガー(穴)への着目
- ・ジャルン(箱)とガー(穴)、カースト
- ・世界遺産/内戦/地震/復興

2. カトマンズ盆地

- ・カトマンズ・バクタプル・パタンの先住民ネットワーク/シャハ王朝/共和国
- ・世界遺産登録 1979/観光と日常生活
- ・カトマンズ盆地への人口集中(176/2649 万人、2011 年)/モータリゼーション/電気と水道
- ・地震 2015/復興/援助

3. 穴(ガー)

- ・ガーのいろいろ:ブンガー、サガー、ナウガー、デョガー、チャサ(ガー)、カラン(ガー)、ボウガー、・・・
- ・ガーの位置と形状:街区の辻ごとに、都市と農村(ガヨ)
- ・人生儀礼とガー:出産/通過儀礼(お食い初め、成人、結婚、歳祝い、・・・)/死
- ・災厄とガー:ガーからのプナヘグ(憑きもの)
- ・不慮の死とガー:
- ・ガーに入れる(置く)呪薬、呪具:マメ、穀物、マサラ、ひも、木、・・・
- ・死の儀礼とガー:カチアパ、ひと形、・・・
- ・死者の法要とガー:パカジャの行方
- ・ガーの神々:アジマ、チャサカマニ、アスタマトリカ、・・・
- ・日本における辻の観念とガー
- ・ガーの来歴:

4. 聖水の箱(ジャルン)

- ・ジャルンの用途:多くは井戸の側にあり、朝一番の井戸水をジャルン後ろの注ぎ口から汲み入れ、道行く旅人などに供する。
- ・ジャルンの設置場所:①井戸のある広場の道ばたに独立に建てられているタイプ/②街角にしつらえられたパティと呼ばれる休憩所(近所の人、訪れる人、旅人などの)の横に設置されるタイプ/③掘り下げ井戸に付属するタイプ/④寺院の入り口などに設置されるタイプ
- ・ジャルンの形状:水を入れる箱部分に乳房型の蛇口、木の栓があることは共通している。木の栓を抜くと水が飛び出る。
- ・ジャルンの由来:主として①亡くなった名士のためにコミュニティもしくは遺族が建立/②水に関わる伝染病、その他の災厄のあとにコミュニティや篤志家が建立
- ・ジャルンの現状:パタン旧市街部における 2005 年調査時に 106 基(うち毎日水をいれているのは 5 基、校の集まりなどのみ使用するのは 3 基)。2015 年震災前に 96 基。2017 年 73 基。
- ・ジャルンの来歴:

5. 穴(ガー)、箱(ジャルン)の来歴、行く末

- ・王都におけるカースト役割、カーストのケガレ概念と深く結びついて生成、変容してきた。
 - ・民主化によるカースト役割の終焉
 - ・援助の条件としての「国際標準」の衛生、人権、環境、景観など
 - ・世界遺産としての建築群の整備、街並みの整備
 - ・モータリゼーション、道路改修

・生と死の病院化

→ガーもジャレンも消えつつある。

→ネワールの人びとの世界観の変容

資料 1 インタビューから

【出産時のこと】(比較的高カーストの女性)

子供が生まれた時、私たちのカーストでは、黒塩、生姜を食べる儀礼をします。4日経つと胎盤を切るカーストの女性を呼んで、胎盤を切ります。お礼にはチュラ(干飯)を2.5キログラムと決まったお金(それ以上でないといけない)を渡します。

同じ日(10日目でもいい)に私たちのカーストでは家のメンバーになるための儀礼をします。同じ日に伯母さんが子供をアジチャ(産婆だが地母神の霊力を持つ)から受け取って、お祓いをしたあと子供の父親にわたす儀礼をします。アジチャにはたくさんの洋服、お金、お米を渡します。6日目にはというのは大根を干したモノをスープにして、家族全員がのむ儀礼をします。子供を産んだ母親にも飲ませて、アジチャを呼んで、アジチャから母親にプジャをして貰います。アジチャはそのスープの入った壺をガーに置きに行きます。10日目には名前をつけます。そのときもアジチャが子供の生まれた日と時間と星占いを記録した一枚の紙(ジャタ)にプジャをして母親と子供にティカをします(ティカはお食い初めの日まですることはできないが、この日だけはよい)。アジチャは1マナの壺に半分に割れた米(チョコキ)を入れて、カランガーに供えに行く儀礼をします。

アジチャがその儀礼をして戻ってきたら、アジチャと子供の父親の一番近い兄弟たちにご馳走をします。次の日から、お食い初めまでは子供にティカをすることはできません。子供のお食い初めをして、七歳から九歳になったときに宗教グループに入る儀礼(ケタブジャ)をします。私たちのカーストの場合はケタブジャのときにクマリプジャもします。お食い初めの時にもクマリプジャをします。

【死亡時のこと】(比較的低カーストの女性)

人が亡くなったらすぐに日乾しレンガ3枚をワタで括ったもの(カチアパ)をチャサ(ガー)に置かないといけません。それから死者を寝かせた土間を赤煉瓦で塗った藁や、死者が使ったモノなどをチャサにいれないといけません。チャサは私たちの居住街区の入り口(辻)にあります。私たちが使うチャサやカラン(ガー)は決まっています。道を挟むと違うのを使います。ひとつの街区にはひとつのチャサあります。このあたりには街区毎にチャサがあって、街区毎、カースト毎にチャサガーが決まっています。

死者をバグマティ川に運ぶときに死者を乗せる台(コタ)の後ろに二世代の男性が歳の順に泣きながらついていきます。その人びとをドウマグといいます。ドウベンケグというのはその人たちとその家族が清められることです。ドウマグがバグマティ川から帰ってくると半分に割れた米、白と黒の菜種、生姜、鍵束(鉄の代わり)、水の壺を陶器の皿にのせて、玄関のまゑで清めます。それからいろいろなことがあって、10日目にもういちどドウベンケグをします。グワジュは7日目です。死者の業を解き放つ仕事をするグワジュとジョギとポデは7日目で、その他は10日目です。私たちの場合、ドウベンケグの日は親族をよんでバグマティ川にいて、ナピットに爪を切り、頭を剃ってもらいます。そのとき、アンバ(緑色の3センチほどの清めるためのフルーツ)、ゴマ、米粉の団子、陶器の壺、藁を清めるために持って行きます。

【死者の7日目の供養】(ジョギカーストの男性)

グワジュのお坊さんたちと同じように、私たちも地域ごとにクライアントがいます。自分たちの財産が分かれているようにクライアントの分担エリアも分かれています。私たちの仕事はパシュパティナート(ネパール最大のヒンドゥ寺院)から与えられた仕事です。

本当は私とあなたは兄弟ですよ。もともとは人々にカルマをするコタ、パタ、パータの三人の兄弟でした。コタというのはグワジュが使う真鍮の深皿、パタはサイの皮で作った小さな深皿、パータは竹で編んだ箆です。コタ(グワジュ)は家の上の方で業から解き放たれるために祈る仕事をします。パタ(ジョギ)はパタレ(家の軒下に埋め込まれた神様の印)にいて死んで7日目の儀礼の供えもの(ネヌボン)をもらっていく。パータはガート(死者を焼く場所)のあるバグマティ川のお寺(ピッツ)で川に流すものを集めていました。三人それぞれのカルマがあります。グワジュが家でプジャをしたときの供え物をジョギに渡し、ジョギがその供え物を少し食べてバグマティ川まで持って行って、それをポデが受け取るというように、長男、次男、三男がそれぞれ仕事を分けているだけです。人は汚い仕事だと言うけれども、それは汚い仕事ではありません。パータもバグマティ川に流されたものを拾う仕事なので、それぞれが汚れない仕事です。...

人は45日目までなにも食べなくても、45日目に水を飲ませれば生き返ります。それと同じように45日目までは死んだ人も家の中に残っています。死後45日目の儀礼をすると家から出て行きます。・・・

ほんとはチャサに供えられたものは政府からお墨付きの印をもらっている私たちのものなのにポデたちが知らないうちに持って行ってしまいおおきな喧嘩になったこともあります。・・・

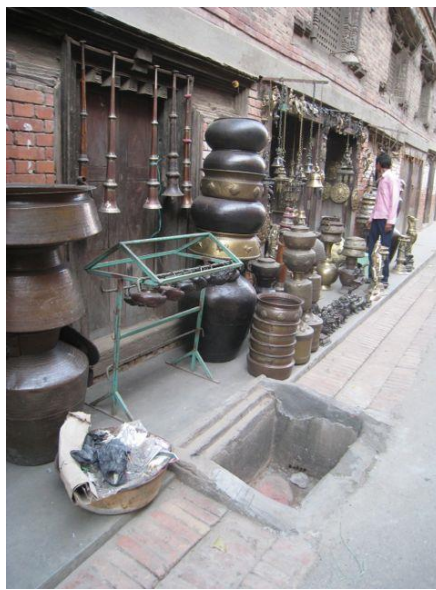
あの人たちはあんなもの食べてるよ、そんなものを食べてるよと見下され、それに対して私たちはいいことをしているとは言い返せなかったのです。それでその仕事を止めました。・・・ジョギの仕事はずっと先祖から続けていた仕事でしたが、最近では昔から続けている洋服をつくることだけをしています。洋服作りもわたしたちの昔からの仕事です。もともとはチャサとネヌボンの供え物を持って行くのと、それから8日に1回半年間つづける供養をするのが私たちの仕事でした。カラン(ガー)のものを持って行くのはポデの仕事です。バグマティ川で火葬する時に使ったものを持って行くのもポデの仕事でした。・・・

※調査は映像民俗研究スタジオの代表をしているアムリット・バジュラチャリヤ氏との共同研究によるものである。調査のための費用の一部は、学術振興会・科学研究費などいくつかのファンドからのサポートによる。

資料2 ガーあれこれ



ブンガー



デョガー



死後7日目の供養のお供えもの



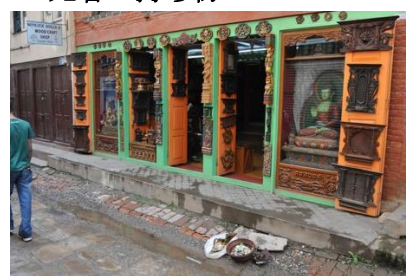
チャサの後産を入れた壺



チャサにの死者の持ち物

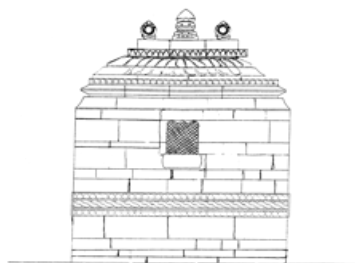
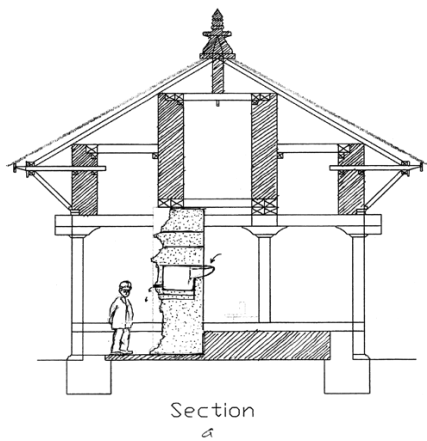
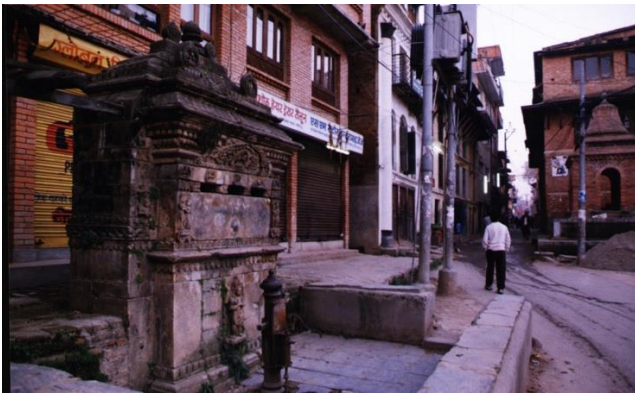


ボウガーの呪具、呪薬など



カランの憑きもの祓いの呪具、呪薬

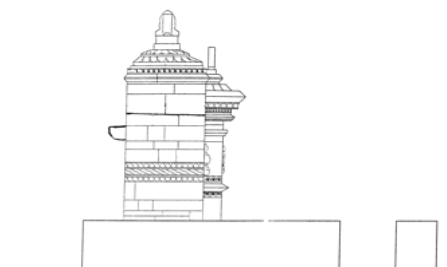
資料3 ジャルンの様子と大まかな構造



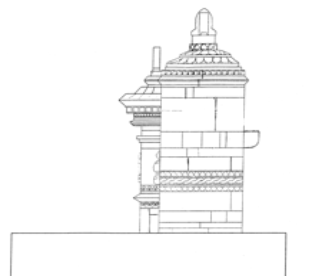
BACK (EAST) ELEVATION



FRONT (WEST) ELEVATION



NORTH ELEVATION



SOUTH ELEVATION